

(別添1)

令和2年度老人保健健康増進等事業

**新型コロナウイルス感染症影響下における通いの場等の取組
及び高齢者の心身の状況に関する実態調査**

株式会社 日本能率協会総合研究所

1. 事業目的

本事業では新型コロナウイルス感染症により発生した影響として、「介護予防に係る取組の縮小状況」や「高齢者等の健康状態への影響」、また、それらの「実態を把握する手法」、季節性感染症等も含む感染拡大防止に配慮した「取組の再開手法」、一般介護予防事業をはじめとした「介護予防に係る取組の展開」等について調査し、実態把握を行った。

2. 事業概要

① 先行調査の実施

全国の通いの場及び高齢者の心身の状況について、早急に概況を把握すること、並びに、全市町村を対象とした調査の設計に向けた基礎情報とすべく、都道府県が把握している情報や一部の市町村の情報をご提供いただき、先行分析を行った（調査・分析期間：2020（令和2）年10月14日～10月19日）。

調査結果は、「新型コロナウイルス感染症影響下における高齢者の心身への影響【中間的報告】」として取りまとめ、弊社ホームページにて、2020（令和2）年12月に発表した。

② 市町村調査の実施

先行調査結果を踏まえ、市町村悉皆調査を実施した（調査期間：2020（令和2）年12月11日（金）～2021（令和3）年1月15日（金） ※一部、遅れ票や破損データ等について、1月下旬まで回収を継続）。

調査結果は、「新型コロナウイルス感染症影響下における通いの場等の取組及び高齢者の心身の状況に関する実態調査【報告書】」として取りまとめ、弊社ホームページにて、2021（令和3）年3月付けにて、翌4月10日より発表。

※なお、弊社提案当初、都道府県等に対する現地視察・支援の実施も想定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、厚生労働省と協議の上、本調査結果等の都道府県等への周知（或いは調査に特にご協力いただいた都道府県等に対しては個別結果のフィードバック等）を通じ、「都道府県等支援」として読み替えることとなったことを申し添える。